

紀州まるごとツアー

8月3日(月) ~ 8月5日(水)

IN 和歌山県立潮岬少年自然の家

| | 午前 | 午後 | 夜 |
|-----|-----------------|------------------------|-----------------|
| 1日目 | 施設向け出発 白良浜遊び | 石拾い 施設到着 | 夕飯づくり 振り返り |
| 2日目 | くじらの博物館見学 | イルカスイム体験 | お楽しみタイム 振り返り |
| 3日目 | 清掃・施設出発 | お土産購入タイム メロン狩り・食べ放題 | |

一日目： 梅雨も明け、夏本番！快晴の中、キャンプがスタートしました。道中何度か休憩を挟み、和歌山県へ向かいました。昼食を済ませると、一つ目の楽しみ、【白良浜遊び】を行いました。関西で1、2を誇るキレイさをもつ、浜辺に一同大興奮し、楽しみました。浜遊びを終えると振り返りで使用する石を探しに行きました。独特な形や模様が入った石を見つけました。施設に到着すると、夕食を済ませ、見つけた石に思い出を描きました。同じプログラムでも楽しみや印象が違い、各々楽しまれていたことが伺えました。二日目からは本格的に楽しみます。存分に紀州を満喫しましょう！！



二日目： 朝から元気にスタートしました。朝食を済ませると、遠足の準備を行いました。今日は【くじらの博物館】と【イルカと一緒に泳ぐ体験】です。楽しみが尽きない一日に行きの車内でもワクワクされていました。くじらの博物館に到着すると、展示物を見たり、鯨の剥製の大きさに驚いたり、中でもイルカとくじらのショーには皆、大興奮の様子でした。午後からはイルカと一緒に泳ぐ体験です。ウェットスーツを着用するところから、初めての経験にワクワクが止まりません。イルカがいる海辺に向かうと早速、イルカのお出迎えです。イルカの生態や泳ぐ特徴を教わり、いよいよ一緒に泳ぎます。イルカの背鰭にしっかり捕まり、一緒に泳ぎました。初めはイルカの速さに驚きましたが、慣れてくると次々と体験を楽しまれていました。あっという間に楽しい時間が終わり、施設に戻りました。夕食を済ませ、キャンプ最終夜なので、みんなで花火をしました。夏の風物詩という事で皆楽しく風流を感じました。



三日目： 朝から片付けと掃除を行いました。朝食を軽めに済ませ、お世話になった施設を出発しました。途中、本州最南端の潮岬に寄り、名産品が一同に集まる、「とれとれ市場」に到着しました。ここで帰りを楽しみにされている方々へお土産を購入します。文具やキーホルダーなど可愛い品物や、お菓子や梅を購入されていました。中には【アジの開き】を購入されている方もおられました。しっかりお土産を買われた後は、最後のプログラムである、【メロン狩り、食べ放題】です。メロン畑に到着すると、どれをもって帰ろうかと吟味し、収穫されていました。手に入れたメロンは後日いただくので、その時がとても楽しみです。収穫後は待ちに待った、メロン食べ放題です！！甘く、よく冷えたメロンは何個もおかわりしてしまいます。メロンが苦手な方もおられましたが、食べてみると、「甘くて美味しい！」と大絶賛されていました。メロンでお腹も心も満たされたところで、今回のツアーは終わりとなります。帰りの道中はぐっすり休まっている方もおられれば、最後まで談笑を楽しまれている方もおられました。解散時はお土産が沢山あり、皆の表情はとても嬉しそうでした。



<キャンプ総括>

今年も天候に恵まれて開催することが出来ました。「紀州まるごとツアー」は外部の講師にお願いをし、プログラムを実施することが多く、我々も一緒にプログラムを楽しませていただいています。そうした中で、我々に出来ることは何かあるのか、を自問しながら活動を行っています。その一つに、『参加者の健康と安全の確保』があります。外部講師によるプログラムの場合は、本来講師の方が安全確保を促されますが、我々が率先して声掛けをしていると、講師から信用され、プログラム指導に専念されます。普段の活動でも然りですが、常に参加者の安全確保を意識して動いているスタッフ一同を私は誇らしく思います。どんなに楽しくて素敵なプログラムを提供しても、健康と安全を損なってしまうと元も子もありません。これからも最優先事項として意識し活動に取り組んで参ります。(竹中 哲郎)